

「中央病院」「イオンわくわく」 戸田市道、2団体に命名権売却



神保国男市長（中央）とともに、新しい道路の名前を披露した戸田中央医科グループの中村毅理事長（左）とイオンリテールの浜田和成取締役（右）＝戸田市役所

戸田市が管理する二つの市道の命名権（ネーミングライツ）の売却先が決まった。

市道3200号線（戸田公園駅東口交差点～中央通り）は道路沿いで戸田中央総合病院を経営する戸田中央医科グループが手を挙げ、「中央病院通り」に。市道5003号線（戸田市美女木東1丁目～笹目川の北部橋）は近くでイオンモール北戸田店を展開するイオンリテールが「イオンわくわく通り」と名づけた。

命名権料は道路の長さに応じ、「中央病院通り」が年間30万円（税抜き）、「イオンわくわく通り」が同61万円（同）。ともに10年契約で、同市によると、市道整備の継続的な財源に充てるといふ。

9日の契約発表会で、戸田中央医科グループの中村毅理事長が「昔から中央病院と親しまれてきたので、念願がかなった」、イオンリテールの浜田和成取締役は「ますます地域の方がわくわくするような場所になりたい」とそれぞれ話した。

文化施設やスポーツ施設では増えている命名権。戸田市によると、自治体が管理する道路への命名は全国でも珍しいという。市民に親しんでもらうため通称をプレートにして掲示するほか、市でつくる地図や観光案内に表示するといふ。